

幼児教育学科

科目名: 幼児と音楽表現 I			担当教員 氏名 山本、國分、荒木、里見、水上、林、森田、黒田、澤武			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	専門科目	演習	必修	保育士資格指定科目(選択) 幼稚園教諭二種免許状科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 授業ではピアノ等の音楽経験のない学生と経験者の2クラスに分けて、音楽的知識や実践力を身につけていく。また童謡の歌唱法を学ぶ。ピアノのレッスンは個人レッスン形式で、学生個々の能力に合わせた指導で全体のレベルアップを目指す。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
音楽の基礎的理論を学び、確かな読譜力と表現法を習得する。またピアノ、声楽の実技指導によって演奏力、歌唱力を身につけ、童謡のピアノ弾き歌いができるようにする。					読譜力 歌唱法 ピアノ奏法	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		3. 5. 6. 7. 8. 9	
A 知識・理解力			音楽の基礎的理論を学び、楽譜の理解に繋げる。			
B 専門的技術			ピアノ、声楽の実技指導によって、ピアノの演奏力、歌唱力を身につける。			
H コミュニケーション力			レッスンや合唱、アンサンブルを通して、自分の思いや考えを伝える力を育てる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 30 %	レポート: %	発表: %	実技試験: 50 %	その他: 20 %		
特記事項: 「その他」の20%はピアノレッスン、声楽の授業における評価。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業におけるテストとピアノ実技試験は別に定めた日時に行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 学生個々に評価を伝え、必要に応じて個別指導を行う。						
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)	
					学習内容	学習に必要な時間(分)
①【 荒木・澤武 】譜表と音名1 読譜とリズムトレーニング1、童謡1 【山本】ピアノ 童謡弾き歌い1						
②譜表と音名2 読譜とリズムトレーニング2 童謡2 童謡弾き歌い2			自主練習		60分以上	
③音符と休符1 伴奏付け1 コードネーム1 童謡3 童謡弾き歌い3			自主練習		60分以上	
④音符と休符2 伴奏付け2 コードネーム2 童謡4 童謡弾き歌い4			自主練習		60分以上	
⑤リズムと拍子1 伴奏付け3 コードネーム3 童謡5 童謡弾き歌い5			自主練習		60分以上	
⑥リズムと拍子2 伴奏付け4 コードネーム4 童謡6 童謡弾き歌い6			自主練習		60分以上	
⑦リズムと拍子3 伴奏付け5 コードネーム5 童謡7 童謡弾き歌い7			自主練習		60分以上	
⑧まとめ(中間)			まとめ(中間)		自主練習 60分以上	
⑨音程 音楽指導のテクニック1 童謡8 童謡弾き歌い8			自主練習		60分以上	
⑩音階1 音楽指導のテクニック2 童謡9 童謡弾き歌い9			自主練習		60分以上	
⑪音階2 音楽指導のテクニック3 童謡10 童謡弾き歌い10			自主練習		60分以上	
⑫ハ長調の音階 伴奏付け・メロディ 1 童謡11 童謡弾き歌い11			自主練習		60分以上	
⑬ハ長調の和音1 伴奏付け・メロディ 2 童謡12 童謡弾き歌い12			自主練習		60分以上	
⑭ハ長調の和音2 伴奏付け・メロディ 3 童謡13 童謡弾き歌い13			自主練習		60分以上	
⑮ハ長調の和音3 伴奏付け・メロディ 4 童謡14 童謡弾き歌い14			自主練習		60分以上	
使用テキスト: 音楽リズム(東京書籍)・子どもの歌ベストテン(ドレミ出版)・Music note(啓隆社)・歌う弾く表現する保育者になろう(音楽之友社)・ユニバーサルデザインの音楽表現(萌文書林)					その他参考文献など:	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 幼児と音楽表現 I は授業に加えて、ピアノの個人レッスンを受講することになります。授業での評価とピアノ実技の評価を合わせて単位を取得することができます。						